

特別
企画

タイ映画祭

近年、注目を浴びるタイ映画の傑作・話題作を上映。
タイ映画の魅力に迫る。

キング・ナレスワン〜アユタヤの勝利と栄光〜
©2007 Prommit Production. All rights reserved.

特別企画

近年、注目を浴びるタイ映画の傑作・話題作を上映。
タイ映画の魅力に迫る。

タイ映画祭

主催：タイ国政府観光庁 福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ実行委員会

会期：10月6日(水)～10月30日(土) ※休館日・休映日除く

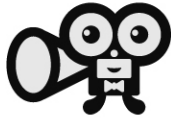
観覧料：600円(大人)/500円(大学生・高校生)/400円(中学生・小学生)

※定員制。各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※障がい者の方及び福岡市在住の65歳以上の方は300円。(手帳の提示が必要です。)

※「わの会」会員は300円(会員証の提示が必要です。)



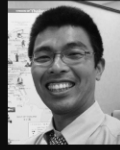
a lecture at the Cinema

タイ・トーク

「映画の前にタイをちょっと知ってみませんか」

10月17日(日) 14:00～14:20 / 10月23日(土) 14:00～14:20

※両日共、トークは有料で上映とセット料金です。



プレゼンター：富松寛考 (タイ国政府観光庁福岡事務所)

1971年生まれ。小学生時代2年間タイで過ごす。その後も94年～95年にタイ語勉強のためにタイに滞在。97年より現職にてタイ文化の広報を担当。今回は、映画内容の解説ではなく、文化や時代背景など映画が楽しめるようなポイントを説明。



7(木) 18:00 | 11(月・祝) 15:00 | 16(土) 15:00

キング・ナレスワン ～アユタヤの勝利と栄光～

King Naresuan part2

1581年にブレンノーン王が崩御。各属領が独立の動きをはじめ。成長したナレスワン王子はピッサヌローク軍を率いて謀反を起こす国の制圧を行う。しかし新国王の息子よりも功績を挙げたことで危険視され、ナレスワン王子は暗殺されそうになる。この事でナレスワン王子はアユタヤの独立を宣言、ホンサワディーとの前面衝突へと発展していく。

「キング・ナレスワン」は第一部と第二部合わせて、日本円で25億円以上の興行収入を上げ、タイ映画の歴代興行収入1位と2位を占めるといふケタはずれの大ヒットとなった作品。特に2部ではハリウッド映画ばりの大迫力の戦闘シーンが展開される。当時の都を再現したセットの豪華さ、数千人のタイ軍人を動員した戦闘シーン、製作期間4年というこれまでのタイ映画のスケールを塗り替えた超大作で、そのクオリティの高さは「レッド・クリフ」を想起させる。正に現在のタイ映画の実力の高さを見せつける。山田長政が登場するのも日本人にとっては見所である。



© 2007 Prommitr Production. All rights reserved.

2007年/DVD /カラー/169分

タイ/日本語字幕付き

監督：チャートリー・チャルム・ユコーン

出演：ワンチャナ・サワディー

ノバチャイ・チャイヤナム

7(木) 14:00 | 11(月・祝) 11:00 | 16(土) 11:00

キング・ナレスワン 序章 ～アユタヤの若き英雄誕生～

King Naresuan part1

16世紀。ホンサワディー国(現ミャンマーの一部)の攻勢によりアユタヤ北部のピッサヌローク国は属領とされる。ピッサヌロークの王は忠誠の証として王子のナレスワンを差し出す。ホンサワディーのブレンノーン王はアユタヤ国を陥落させ、領土を拡大していく。ナレスワン王子は捕虜でありながらアユタヤの誇りを失わず成長していく。救国の英雄としてタイ国民から敬愛されるナレスワン王の少年期を描いた作品。



© 2007 Prommitr Production. All rights reserved.

2007年/DVD/カラー/167分

タイ/日本語字幕付き

監督：チャートリー・チャルム・ユコーン

出演：ブラッチャナー・サナンワッタナー

ソーラポン・チャトリ

6(水) 14:00 | 10(日) 14:00 | 15(金) 19:00

風の前奏曲

The Overture

19世紀末のシャム。少年ソーンは村で楽団を率いる父親の元に生まれ、子供の頃から天賦の才を発揮する。地元で一番のラナート奏者となったソーンは、宮廷楽団の奏者に抜擢される。ラナートとはタイの木琴で伝統的な民族楽器。国民的なラナート奏者だったソーン・シラパバンレーン師をモデルとした作品。タイで公開されると大ヒットとなり、タクシン首相をはじめ王族達も鑑賞、国民的熱狂を巻き起こした作品。



2004年/35ミリ/カラー/106分

タイ/日本語字幕付き

監督：イッティス・サントーン・ウィチャイラック

出演：アヌット・サバンボン

アトゥン・ドゥンヤラット

8(金) 14:00 | 20(水) 14:00 | 23(土) 11:00

フェーンチャン ぼくの恋人

Fan Chan

ジアップとノイナーは同い年で家もすぐ側のため、赤ん坊の頃からいつも二人で遊んでいた。いつもノイナーに合わせて女の子の遊びだったがジアップは気にしなかった。しかし次第に大きくなり、ジアップは男の子のグループと一緒に遊びたくなる。子供の頃の甘酸っぱい初恋の思い出を、ノスタルジーを込めて描いた感動作。可愛い主演の二人は国民的アイドルとなる。



2003年/DVD/カラー/108分

タイ/日本語字幕付き

監督：コングリット・ドゥリーウィモン、他

出演：チャーリー・タライラット

フォーカス・ジラクン

8(金) 19:00 | 14(木) 14:00 | 23(土) 17:00

シチズン・ドッグ

Citizen Dog

人生に夢を持ってない青年ポッド。夢見がちな少女ジンは空から落ちてきた本を拾う。外国語のため何が書いてあるか分からない本を、ジンは宝物のように大切に。ジンと出会ったポッドは彼女を好きになるのだが…。『快盗ブラッックタイガー』が世界中で絶賛されたサーサナティアン監督作品。極彩色のファンタジックな物語で、ジンの天然ボケのようなキャラクターからタイ版「アメリ」とも言われる。



2004年/DVD/カラー/99分

タイ/日本語字幕付き

監督：ウィット・サーサナティアン

出演：マハーサムット・ブンヤラック

セーントーン・ゲートウートン

9(土) 11:00 | 24(日) 14:00 | 29(金) 19:00

早春譜

Seasons Change

ボムは憧れの女性ダーオが音楽学校に進学する事を知り、自分も得意のドラムで受験し合格する。しかし父親は芸術に対して理解がなく、ボムは両親には内緒で学校に通う。音楽学校に通う生徒たちのドラマを、ビバルディの音楽「四季」に合わせて構成した青春映画。コミカルで切ない青春群像である本作はタイで大ヒットした。なおボムのドラムの先生を演じるのはタイ在住の日本人、矢野かずき氏。



2006年/35ミリ/カラー/117分

タイ/日本語・英語字幕付き

監督：ニティワット・タラントーン

出演：ウィタワット・シンラムボン

チュティマー・ディーナパート

タイ映画クラシックス

17 (日) 11:00 | 28 (木) 18:30

地獄のホテル

Country Hotel

田舎に佇む「天国のホテル」にはいつも奇妙な客がやってくる。ある日素性を隠した女がやって来て強引に宿泊する。そこへ女を追って男達がやってくる。ホテル内部で大勢の人間が入り乱れるグランドホテル形式のブラック・コメディ。歌や踊りにアクションとあらゆる要素が詰め込まれている。アメリカ映画、特にヒッチコック作品の影響も見取れる。



1957年/35ミリ/モノクロ/138分
タイ/日本語字幕付き
監督:ラット・ベスタニー
出演:チャナ・シーウボン サリンディップ・シリワン

17 (日) 14:00 約20分トーク有り。映画は14時20分頃開始。 | 28 (木) 14:00

メナムの残照

Fate

太平洋戦争中、日本軍はバンコクに進駐していた。反日感情を持つアンスマリンは日本軍将校小堀と出会い、誠実な小堀に惹かれていく。やがて二人は結婚するが、戦況は悪化しバンコクも空襲を受けるようになる。原題は「運命の相手」。タイで何度も映画化やテレビドラマになるほどタイ人に愛された物語。映画化以来タイでは日本人のことを「コポリ」と呼んだという、タイ映画の名作。



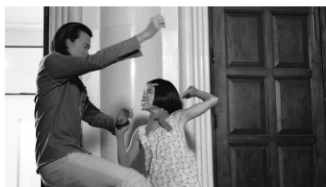
1988年/DVD/カラー/130分
タイ/日本語字幕付き
監督:ルット・ロンナポップ
出演:チンタラー・スカバット
ワルット・ウォーラタム

9 (土) 14:00 | 22 (金) 14:00

ヌーヒン バンコクへ行く

Noo-Hin The Movie

東北タイの田舎に住むおてんば娘のヌーヒンはみんなに迷惑をかけてばかり。家族の生活苦のためバンコクに出稼ぎにでたヌーヒンは、美人のミルクの家の家政婦となる。テレビでモデルコンテストの募集を見たヌーヒンは、かつてにミルクの履歴書を作って応募してしまう。90年代から10年以上も続いている漫画の映画化作品。原作は100万部以上の売り上げで、ヌーヒンはタイでは誰もが知るキャラクター。元氣一杯のヌーヒンが巻き起こす大騒動がコミカルに描かれる。



© 2006 Sahamongkornfilm International Co., Ltd. All rights reserved.
2006年/DVD/カラー/99分
タイ/日本語字幕付き
監督:コムグリット・ドゥーリーウィモン
出演:ルンラーワン・トーンホンサー
コッチャコン・スパカーンキッジャクン

9 (土) 17:00 | 21 (木) 14:00 | 30 (土) 11:00

ミー・マイセルフ 私の彼の秘密

Me Myself

OLのウムは彼氏に振られたことがショックで、車で男を轢いてしまう。男は命を取りとめるのだが、記憶をなくしてしまう。ウムはしかたなく男を引き取り二人の共同生活が始まる。そして二人は次第に惹かれあっていく。タイ、シンガポールなどで活躍する注目の俳優アナンダ・エヴァリンハムの主演作。心温まるラブストーリーだが、タイならば現実に見える意外な結末に注目。



© 2007 Mono Film, a division of Mono Group Co., Ltd. All rights reserved.
2007年/DVD/カラー/110分
タイ/日本語字幕付き
監督:ポンパット・ワチラパンジョン
出演:アナンダ・エヴァリンハム
チャーヤナン・マノマイサンティパーブ

10 (日) 11:00 | 15 (金) 14:00 | 22 (金) 19:00

トム・ヤム・クン!

Tom Yum Goong

タイ東部の村。そこではムエタイ兵士の末裔が王に献上する象を育てていた。カームの父親は地方の有力な政治家に象を献上しようとするが、彼らは実は密猟組織と手を結んでいた。奪われた象を取り返すため、カームは密輸先のオーストラリアへ向かう。そして彼らのアジトであるタイ料理店「トム・ヤム・クン」に乗り込むのだった。スタントやCGを使わないトニー・ジャーの驚異のアクションが炸裂する一大娯楽作品。



2005年/35ミリ/カラー/110分
タイ/日本語字幕付き
監督:ブラッチャヤー・ピンゲーオ
出演:トニー・ジャー
ベットターイー・ウォンカムラオ

21 (木) 19:00 | 24 (日) 11:00

タムくんアニメ(イエロー、グリーン)

Tam-Kun Animation

タムくんとは、監督の愛称。監督は、ノートの落書きのような絵を書くタイの漫画家で、彼が制作した短編アニメーション集「タムくんイエロー」「タムくんグリーン」を上映。シンプルな線と色、物語は日本文化に影響を受けた監督の妄想や夢から紡ぎ出される。セリフはなく、不思議な微笑ましい物語から少し残酷な物語など、監督自身のピアノ演奏も心地よい癒しとなる。



2006年/DVD/カラー
アニメーション/81分/タイ
監督:ウィスット・ボンニミット

23 (土) 14:00 約20分トーク有り。映画は14時20分頃開始。 | 29 (金) 14:00

メコン・フルムーン・パーティ

Mekhong Full Moon Party

タイ東北部、ラオスとの国境を流れるメコン河から次々と火の玉が上がっていく。多くの人が原因を解明しようとするのだが、真実は分からない。本作で描かれるメコン河から立ち上る火の玉は実際に起きる不思議な現象で、これをベースに信仰について問いかけたコメディ映画。大ヒット作「アタック・ナンバーハーフ」の脚本家チラ・マリクンの監督デビュー作。



2002年/35ミリ/カラー/119分
タイ/日本語・英語字幕付き
監督:チラ・マリクン
出演:アヌット・サバーンボン
ノッパドン・ドゥアンボン

27 (水) 14:00 | 30 (土) 14:00

ムーンハンター

The Moonhunter

1973年、バンコクのタマサート大学の学生達を中心となり、タイ史上最大の民主化を求めるデモが発生する。身の危険を感じる運動のリーダー、セークサン・プラストクンは恋人とともにラオスの密林に潜伏、タイ共産党とともに逃走の日々を送る。セークサン・プラストクンは実在の人物で、本作は本人が脚本にも参加、当時の民主化運動、共産党の活動がリアルに描かれる。



2001年/35ミリ/カラー/122分
タイ/日本語・英語字幕付き
監督:バンディット・リッタコン
出演:バーヌ・スワンノー
ピンパン・チャンタ



1・金	休 映 日
2・土	自主上映／福岡映画サークル協議会第6回例会
3・日	自主上映／福岡映画サークル協議会第6回例会
4・月	休 館 日
5・火	休 映 日
6・水	14:00 風の前奏曲
7・木	14:00 キング・ナレスワン 序章 ～アユタヤの若き英雄誕生～ 18:00 キング・ナレスワン ～アユタヤの勝利と栄光～
8・金	14:00 フェンチャン ぼくの恋人 19:00 シチズン・ドッグ
9・土	11:00 早春譜 14:00 ヌーヒン パンコクへ行く 17:00 ミー・マイセルフ 私の秘密
10・日	11:00 トム・ヤム・クン! 14:00 風の前奏曲
11・月/祝	11:00 キング・ナレスワン 序章 ～アユタヤの若き英雄誕生～ 15:00 キング・ナレスワン ～アユタヤの勝利と栄光～
12・火	休 館 日
13・水	休 映 日
14・木	14:00 シチズン・ドッグ
15・金	14:00 トム・ヤム・クン! 19:00 風の前奏曲
16・土	11:00 キング・ナレスワン 序章 ～アユタヤの若き英雄誕生～ 15:00 キング・ナレスワン ～アユタヤの勝利と栄光～
17・日	11:00 地獄のホテル 14:00 メナムの残照
18・月	休 館 日
19・火	休 映 日
20・水	14:00 フェンチャン ぼくの恋人
21・木	14:00 ミー・マイセルフ 私の秘密 19:00 タムくんアニメ
22・金	14:00 ヌーヒン パンコクへ行く 19:00 トム・ヤム・クン!
23・土	11:00 フェンチャン ぼくの恋人 14:00 メコン・フルムン・パーティ 17:00 シチズン・ドッグ
24・日	11:00 タムくんアニメ 14:00 早春譜
25・月	休 館 日
26・火	休 映 日
27・水	14:00 ムーンハンター
28・木	14:00 メナムの残照 18:30 地獄のホテル
29・金	14:00 メコン・フルムン・パーティ 19:00 早春譜
30・土	11:00 ミー・マイセルフ 私の秘密 14:00 ムーンハンター
31・日	第18回 福岡映像コンテスト

予約制・無料（受付：平日 9時～17時）
相続・遺言、不動産の個別相談会
私達、財務コンサルタントがご相談を承ります。



河内山 義昭



内山 創

住友信託銀行 福岡支店
092-781-4405（受付：平日 9時～17時）
予約は前営業日までをお願いします。

特別
企画

福岡市民芸術祭協賛

第18回 福岡映像コンテスト

福岡県内各地から送られてくる
アマチュアによるビデオ作品のコンテスト。
優秀作品には「福岡市長賞」等の賞が贈られる。



会 期：平成22年10月31日（日）
10:00～表彰式／13:00～受賞作品上映

観 覧 料：無料

主 催：福岡映像協会

共 催：福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ実行委員会

お問い合わせ先：tel.092-801-1420（福岡映像協会）

映像ホール・シネラ 11月上映予告

特別
企画

ぴあフィルムフェスティバルin福岡

会 期：11月4日（木）～11月7日（日）

日本最大の自主映画の祭典。ぴあフィルムフェスティバル入選作を一挙上映。

特別
企画

映画に見る福岡

福岡市博物館「ふくおかの歴史とくらし」展協賛

会 期：11月10日（水）～11月26日（金）

「黒田騒動」「空の大怪獣 ラドン」「高校大パニック」など福岡を舞台にした様々な作品を上映。

自主上映のお知らせ

10月2日（土）・3日（日）

福岡映画サークル協議会第6回例会

上映作品：「風と共に去りぬ」（デジタル上映）

12:00～ 両日共、途中10分間の休憩あり。

主 催：福岡映画サークル協議会 tel.092-781-2817

※自主上映の詳細については直接主催者にお尋ね下さい。

information

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館（代表）：tel.092-852-0600

映像資料課：tel.092-852-0608 fax.092-852-0609



福岡市総合図書館映像ホール・シネラ ホームページ

うえぶシネラ <http://www.cinela.com>

Access

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

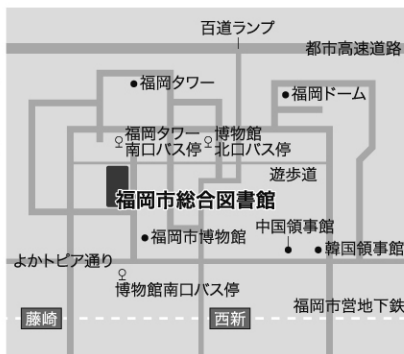
市営地下鉄

西新駅または藤崎駅下車徒歩15分

西鉄バス

●博多駅、天神、西新から福岡タワー南口下車徒歩5分または博物館南口下車徒歩5分

●藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分
◎所要時間は交通事情により異なります。
バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、またお近くのバス停からのご利用については西鉄お客様センター[tel.0570-00-1010]に直接お問い合わせください。



◆◆◆ 第123回福岡日伊協会映画会 ◆◆◆

『アンツィオ大作戦』（1968年制作/112分）

監督：エドワード・ドミトリク/出演：ロバート・ミッチャム、ピーター・フォーク、アーサー・ケネディ他

日 時：2010年10月22日（金）19:00～21:00 ※入場無料・先着120名

会 場：あじびホール（福岡アジア美術館8F）TEL.092-263-1100

主 催：福岡日伊協会 TEL.092-476-2153（西日本シティ銀行内）

協 力：財団法人福岡文化財団